

令和5年度 豊明市児童館指定管理者審査委員会議事要旨

日 時：令和5年7月27日（木）

午後2時～5時

場 所：豊明市役所 新館1階 会議室6

※敬称略

出席委員：南 寿樹、加藤 雪絵、野村 治子、渡邊 健人、時高 厚子、田中 君枝、
萩原 啓一、小串 真美、中村 泰正

欠席委員：岡 裕香

事務局：松村 清子（子育て支援課長）、若井 雅宏（課長補佐兼児童担当係長）

指定管理者：セリオ・ALSOK ビルサービス共同事業体、株式会社日本保育サービス、
株式会社ポピンズエデュケア

委員長・副委員長の選任

委員長に南委員、副委員長に中村委員が選任された。

議 題

1. 児童館指定管理の状況について

事務局より児童館の概要及び指定管理の状況について説明。

<質疑・意見等>

（委員長）児童クラブについて、待機児童はいますか。

（事務局）令和4年度より児童クラブの所管は教育委員会となっていますが、待機児童はいないと聞いています。ただし、共働きのご家庭が増えている現状で、児童クラブ登録児童数は増加傾向にあり、定員の拡大や環境整備について検討している状況であるとも聞いています。

（委員）地域活動団体の活動状況として、母親クラブ・ママコアの実績を伺い、とても魅力的な講座や教室を実践されていると感じました。もともとは二村児童館の母親クラブとして活動されていて、二村児童館の閉館により活動拠点を共生交流プラザ「カラット」に移されたとお聞きしましたが、どのような方が登録されているのですか。

（事務局）もともとは二村児童館の母親クラブとして活動されていたので、その周辺のママたちが登録されていましたが、今はカラットでの活動が中心となり、市域全体でどなたでも登録できると聞いています。

2. 令和4年度モニタリングレポート（年次評価）について

【セリオ・ALSOK ビルサービス共同事業体:大宮児童館】

事務局より令和4年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート（年次評価）について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。指定管理者より補足説明。

<質疑・意見等>

- (委 員) 事業収支について、黒字幅はどのくらいですか。
- (事務局) 他の事業者も同様ですが、児童館の指定管理事業については、指定管理料以外の収入はほとんどないので、事業収支は概ね一致しているという状況です。
- (委 員) モニタリングチェックシートの各項目の評価が、指定管理者と市とでほとんど一緒になっていますが、違う評価にはならないという理解でよろしいでしょうか。
- (事務局) それぞれの評価基準に基づき、指定管理者は自己評価として、市はその自己評価も踏まえて、市として評価しているので、当然違う評価もあり得ます。実際に、指定管理者の自己評価と市の評価が違う項目も一部あります。
- (委 員) 本委員会には数年間、委員として参加させていただいていますが、指定管理者の運営が地域に溶け込みつつあると感じています。毎回、フォトページも見させてもらって、子どもたちの生き生きとした姿が伝わってきますし、日々の楽しんでいる様子が絶えず発信されているので、説得力があると感じました。また、制作活動も準備が大変だとは思いますが、子どもたちが参加しやすいように、しっかりと準備されたり、「日本舞踊の会」や「お琴の会」など地域の方々との連携が取れていることが評価できます。
- (委 員) アンケートについて、利用者の意見に対する改善策を館内に掲示していることは利用者にとっても対応が目に見えてよいことだと思います。アンケートの回収率はどのくらいですか。
- (指定管理者) アンケートについては、一定期間で一般来館の方にその場でご記入いただいて回収しているので、回収率としては100%となっています。

<モニタリングレポートコメント意見>

年次評価については事務局案のまま承認を得た。また、審査委員会コメント欄については、事務局案に「地域に根ざした交流を大事にしている」を追加することで承認を得た。

【日本保育サービス:中央児童館、北部児童館】

事務局より令和4年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート（年次評価）について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。指定管理者より補足説明。

<質疑・意見等>

- (委 員) 中央児童館では、中学生の利用が増加傾向にあるとのことで、非常によいことだ

と思いますが、中学生は児童館でどのように過ごしているのでしょうか。

(指定管理者) 中学生は特に体を動かす遊びが好きなので、遊戯室で成長バトルというハンドテニスやドッチボールなどをしています。また、遊びを通じて、小学生も含め異なる学年との交流が自然に生まれていることが豊明市の地域性だと感じています。

(委員) 中央児童館において、利用者の心境に寄り添った相談対応を行っているとのことですが、どのような年齢層の子が、どのような形で相談につながっているのでしょうか。職員から気になる子に声かけしているのでしょうか。

(指定管理者) すでに職員との信頼関係ができていますので、小学生や中学生が学校やご家庭での日々の出来事や悩みを素直に発信してくれます。その発信を、職員が傾聴し、受け止め、寄り添ってあげると、最初は泣きそうな表情の子も、笑顔で帰って行かれます。また、必要に応じて、市や学校といった関係機関に連絡をして、その子にとってどのような支援ができるのか相談したり、即座に対応してもらったり、つなぐこともしています。

(委員長) 学校でもない、家でもない、子どもたちにとっての第3の居場所として、児童館が機能していることが伺えて、子どもたちを救うセーフティネットがとても大事だと考えますので、ぜひ教育委員会としても連携していきたいと思います。

(委員) 北部児童館において、職員全員が有資格者との記載がありますが、何か意図があるのでしょうか。

(指定管理者) 市直営から指定管理に移行する際に、もともと勤務されていた児童館職員を継続雇用したこともあり、保育士資格や教員免許などの有資格者を多く配置することができていると認識しています。

(委員長) 自己評価のコメント欄に「STEAMSの観点を入れた工作」という表記がありますが、どういったものですか。

(指定管理者) 欧米で取り入れられている教育方法の一つで、弊社が進めるオリジナル課題解決型学習プログラムの方針として取り入れている観点です。「STEAMS」とは、「S」サイエンス(科学)、「T」テクノロジー(技術)、「E」エンジニアリング(工学)、「A」アート(美術)、「M」マスマティクス(数学)、「S」スポーツといった5つの分野を表す単語の頭文字を取ったもので、今後のIT社会に順応した競争力のある人材を育てていくため、子どもたちが自分の力で学び、理解し、さらに興味のあることを見つけていくことができるよう、子どもたちの自主性を培います。工作活動では、職員はファシリテーターとして、子どもたちの自主性を尊重して、自由に進めていき、自分で考える力を引き出していきます。

<モニタリングレポートコメント意見>

年次評価については事務局案のまま承認を得た。また、審査委員会コメント欄については、事務局案に「教育の観点を取り入れている点」「他施設と連携したりリモートでの交流をしている点」を追加することで承認を得た。

【ポピンズエデュケア：南部児童館、西部児童館、ひまわり児童館、コスモス児童館】
事務局より令和4年度のモニタリングに基づき、モニタリングレポート（年次評価）について説明。萩原委員より経営状況の分析結果について報告。指定管理者より補足説明。

<質疑・意見等>

- (委員) 西部児童館では、保護者の心配事が大きな相談になる前に、日々の関わりの中で解決していけるように寄り添っているとのこと、とてもよいことだと思います。大豆やスイカ、サツマイモなどの栽培を行っているとのことですが、どこか畑などを借りているのですか。管理も大変だと思いますが、子どもたちはどこまで栽培に関わっているのでしょうか。
- (指定管理者) 児童館の敷地内に花壇があるので、子どもたちと一緒に草取りなどの管理も含めて、栽培したり、収穫したりしています。
- (委員) ひまわり児童館を使わせてもらっていたことがありますが、子どもが高学年になり、行かなくなってしまうのですが、様々な遊びや行事を企画してくれていることを改めて知り、また利用させてもらいたいと思いました。
- (指定管理者) ひまわり児童館は、児童クラブが栄小学校に移り、遊ぶスペースも広く、高学年のお子様も利用が増えていますので、ぜひご利用ください。
- (委員) 児童クラブや児童館での生活リズムが定着してきていると感じています。職員の方々の対応もとても丁寧で、お迎えに行ったときには、ちょっとしたエピソードを教えてくれるなど親御さんはとても喜んでいきます。
- (委員長) 保護者からの提案を取り入れたり、地域のボランティアさんと上手に関わっていて、地域に根ざした取り組みができていいるなど感じました。
- (指定管理者) 子どもたちに押し付けるのではなくて、主体的に考えて行動できるように工夫しています。また、妊産婦さんも気軽に相談に来られる場所として、些細な要望でもできる限り取り入れていきたいと考えています。さらに、各館のよい取り組みについては、横展開をしていき、スタッフも定期的に交換するなど、4つの児童館を管理運営しているメリットを最大限に生かしていきたいと思います。

<モニタリングレポートコメント意見>

年次評価と併せて事務局案のまま承認を得た。

3. 児童館指定管理者プロポーザルについて

事務局より令和6年度に実施予定の次期指定管理者プロポーザルに向けての検討事項等について説明。

<質疑・意見等>

- (委員) 児童館職員が地域の顔になって、やっと地域に根付いてきたという印象です。そういった現状をできる限り継承して行ってほしいと思います。
- (委員) やはり南部地区は子育て支援施設がないので、ひまわり児童館を子育て支援の拠点としてほしいと思います。
- (委員長) サウンディング型市場調査で事業者の意見も聞きながら、第3の居場所として児童館がより機能するような仕様書にしてほしい。また、今後は一層貧困対策が重要であると考えますので、例えば子ども食堂との連携なども検討してほしいと思います。

以上